

平成30年4月30日

南砺市長 田中幹夫 様

坂本区長 荻谷英之



平成30年度 要望書

日頃より坂本地区の振興につきましては、格別なるご指導ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成30年度の要望につきましては、当地区から下記のとおり具申いたします。よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

記

1、なんバス（南砺市営バス）運行路線について

なんバスは立美循環線が県道才川七・法林寺線（県道355号線）を運行しておりますが、坂本地区の多くの住居が周りに存在する坂本公民館から、最寄りの広瀬公民館バス停または福光高校口バス停までは直線距離で9百mから1km程度あり、当地区の西側に居住する住民にとっては大変利用しづらい状況です。南砺市においても高齢者運転免許自主返納支援を行っておりますが、自家用車・タクシー以外の交通手段がなんバスしか選択肢の無い高齢者にとっては、自動車の運転に不安を感じても運転免許自主返納までを決断するには躊躇するものと推察します。これは当地区以外にも広瀬地区の医王山側に居住する住民にとっては共通する問題であると存じます。

なんバスの運行路線を各集落の住居が集中している地域も通るように、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

H30-018-001 地方創生推進課 交通政策係

2、西部農免道路のカーブミラー設置について

西部農免道路の南側から北側に進行し右折して当地区に入る進入路が、見通しが悪いにも関わらず、カーブミラーが無いため対向車を確認することができず、大変危険な状態です。過去には設置されていた時期もあったようですが、現在は反射板のみが設置されています。住民が安全に通行できるように、再度カーブミラーを設置することを要望します。（当該箇所の地図および画像別添）

H30-018-002 建設課 道路河川維持係

以上

広瀬自治振興会

会長 中山 正次



(別添)

○項目 2 - 地図



○項目 2 - 画像



- ・左側の家屋の陰になり対向車が確認できず非常に危険なため、正面の反射板の辺りにカーブミラーの設置を要望。